【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【公表番号】特表2012-507618(P2012-507618A)
【公表日】平成24年3月29日(2012.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2012-013
【出願番号】特願2011-535082(P2011-535082)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ　26/02　　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ　 8/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ　26/02
Ｃ０８Ｆ　 8/12

【誤訳訂正書】
【提出日】平成26年4月2日(2014.4.2)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００３】
欧州特許出願公開第００７１０５０号明細書の記載から、加水分解されたポリビニルホルムアミドは、公知であり、このポリビニルホルムアミドのホルミル基は、アミノ基の形成下に完全に、または２０～９０％加水分解されている、加水分解は、４０～１８０℃の温度で鉱酸または塩基０．０５～１．５当量の存在下で行われうる。加水分解は、特に７０～９０℃の温度範囲内で塩酸または苛性ソーダ液を有する水溶液中で行なわれる。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００７】
米国特許第５４０１８０８号明細書および米国特許第５３２４７９２号明細書の記載から、ビニルアミン単位、ビニルホルムアミド単位およびアミジン単位を含有する三元共重合体または該三元共重合体の製造法は、公知であり、この場合ポリビニルホルムアミドは、９０℃を上廻り１７５℃を下廻る温度で、アンモニア５０質量％未満またはアルキルアミンを含有する水性媒体中で加水分解される。圧力は、反応成分が反応条件下で常に液相中に存在するように調節される。加水分解後、アンモニアまたはアミンは、水溶液から除去され、塩不含の重合体が得られる。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３４】
ビニルカルボン酸アミド１当量当たり、例えば塩基または酸０．０５当量～１当量未満が使用され、多くの場合に塩基または酸０．２～０．９当量が使用される。特に有利には、加水分解の場合には、苛性ソーダ液が使用される。